

出雲地区

# 保護司会 だより

第38号

## 目次

巻頭言（島根県出雲保健所所長）	1
社会を明るくする運動（標語）	2
社会を明るくする運動（作文）	4
社明運動啓発講演会	6
更生保護女性会の活動	7
協力事業主会 研修会	8
BBS会員募集	8
更生保護功労受彰者	8

## 感染症対策を高める地域の関係性



島根県出雲保健所所長

中本 稔

保護司会の皆さまには薬物乱用防止の取り組みをはじめ各種の地域活動にご協力いただき感謝を申し上げます。

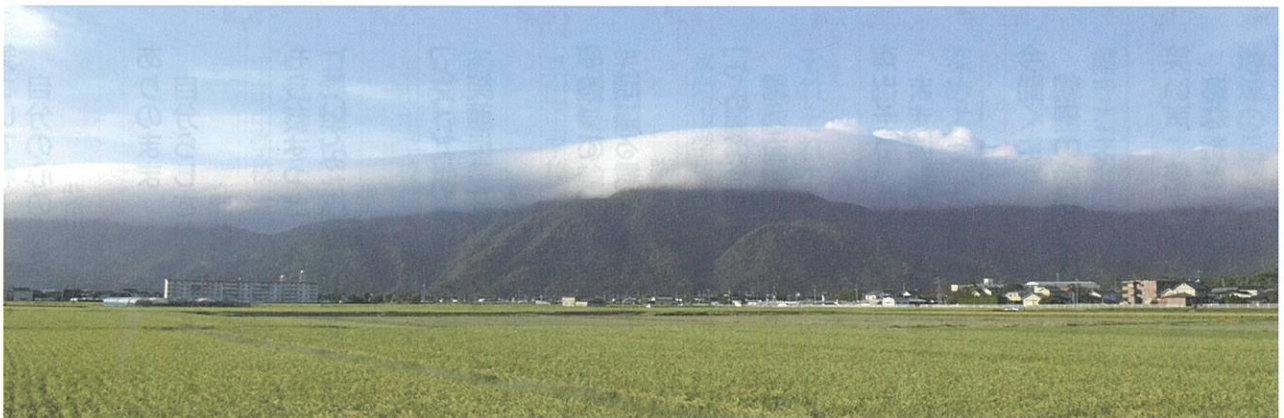
令和二年に国内で感染が確認されてから全国の保健所では新型コロナウイルス感染症対策を行ってきました。特に出雲圏域では、令和三年十二月末のオミクロン株のクラスター発生、本年六月中旬からは全国のB.A.5株大流行の先駆けとなりました。

感染対策で大事なものは、感染源対策、感染経路対策、そして、感受性への対策の三本柱です。そのどこかを断ち切れれば感染の流行は抑えられます。感染源対策では、早期に患者を見つけ自宅や病院で療養していただくこと。感染経路対策では、マスクを適切に利用して人の距離をとること、部屋の換

気。そして、感受性では、日頃の体力に加え、ワクチン接種を受けること。

これらの対策をより進めるのが関係性です。大切な人（例えば重症化リスクのある方）が感染しないようにと家族や地域の中で互いに配慮する場面がたくさん見受けられました。健康格差の縮小を目標にした健康日本21（第二次）計画では、ソーシャルキャピタル（社会関係資本）という言葉で、地域の関係性を謳っています。この出雲の地で培われた関係性互いを信頼すること、助け合うことが、コロナ禍で発揮されたと考えています。

出雲保健所では、これからもいさいきと暮らすことができる地域づくりに取り組んでいきますので、今後ともご支援のほど、よろしくお願いたします。



〈北山を望む〉